



TITLE:

質疑應答

AUTHOR(S):

CITATION:

質疑應答. 地球 1925, 3(5): 566-568

ISSUE DATE:

1925-05-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/182855>

RIGHT:

定價貳圓

武藏野及其一角たる東京市(江戸)の地は民族史文化史、歴史地理、考古學、人類學等の上から極めて興味のある所であるに拘はらず、學者の閑却する所となつてゐるのを慨して、著者は嘗て東京市京橋月島小學校で講演したものを今度本書として出版されたのである、考古學上の議論が多いがさにかく通俗的に有史以前の武藏野の開發をのべたもので人文地理を研究するものにさつては餘程面白い有益な書籍である、武藏野の有史以前高臺の状態さか武藏野の環郷さ民衆の生活、生活の様式さ其地形との關係などサセスチープな點が多い、日本の原住民であつたアイヌに關しても博士の所論にきくべきものが多い、敢て一讀をすゝめる、(藤田)

○雷雨發現と等壓線型の關係に就て

氣象雜誌第三卷第二冊 田代武四郎

中央氣象臺の田代氏は、豫て全國の雷雨を調査するに、日々の天氣圖を参照して注意してゐられたが、其結果が本論文である。等壓線の線型として、波形、乙字形、S字形、V字形、瘤形鞍形、鯨尾形、楔形等の各種の型と日々の天氣圖上に顯はれる等溫線の變化とを比つて、この型のどの部分に雷雨發現の多寡があるか、其發現回數と四季の變化等を圖上に示めてある、特に大正十年五月二十三日六時の天氣圖によつて、其説明がしてあるのが、餘程面白い、要するに高氣壓の線がV字形に低氣壓の方へ突出したり、或は瘤形をなしてゐる場合に雷雨の發現が多いといふ事を明にしたものである。

質疑應答

問 能登半島の成因を問ふ

(山梨 Y生)

答 能登半島は日本海凹地成生に伴へる共心狀並に子午線の折裂線によりて形成されたる地壘なり。

即ちその西邊深海は子午線狀の折裂線に沿ひて沈降せるものと看做すべきものなり。町野川豁谷は恐らく此の主要折裂線に並走する子午線狀の一折裂線なり。能登北浦即ち日本海岸、若山川、宇出津、小木間海岸等何れも東北東より西南西に走り子午折裂線と略ぼ直交の走向を有す。此走向は日本海の南邊たる本州日本海岸並に百尋線の一般走向に一致するものなり。

邑知瀉、及び七尾南灣を経て佐渡に達する折裂線は一共心狀折裂線にしてこれがため半島は離れたる獨立體的觀ありしもその後の地變並に隆起によりて現在の地形を呈せるものならん。

問 錫蘭島の住民について伺ひたし

(大阪片山生)

答 一九二一年の國勢調査によれば人口四百四十九萬八千六百五人、人口密度一平方哩につき百七十八人に當る、之が人種別を示めせば左の如し。

人種別	人	口	百分率
歐羅巴人	八、一一八		〇、二
バルガー	二九、四三九		〇、七

シンハリース人 一、九二七、〇五七
 ローカンツリー 一、〇八九、〇九七
 カンデアン 二四、二

タミル人 五一七、三二四
 セイロン 六〇二、七三五
 インザアン 一一、五
 ムーア人 一三、四

セイロン 二五一、九三八
 インザアン 三三、〇二六
 五、六
 〇、七
 一三、四〇二
 〇、三

馬來人 四、五一〇
 ゴエツダ 二一、九五九
 〇、一
 〇、五

其 他
 この表に現はれてゐるやうに各種の民が住んでゐる、これは島國の性質として然るべきことであるが、バルカーは主として和蘭人とシンハリース人の雜種で、和蘭人よりも先に渡來した葡萄牙人系の雜種もある、歐人の特性は全く失はれ、土語と英語とを用ひて官廳商社等の中下級の商務に従事するが教育の程度は第一に位してゐる。

シンハリースとは島の名 *Sinhalewa* から出たもので、*Sinha* は獅子の義で唐書などにも獅子國と出てゐる、セイロンと云ふ名もシンハラデバの傳訛であるが、紀元前五四三年印度北方のビハルから父王に追放されたヴィジヤアヤが移住し來つて、先住民を平定してアヌラダプラに都した、此ヴィジヤアの祖が獅子に出たのでかく族名にする事になつたといふ傳説がある、何にしても古くからこの島を支配した種族で、これを大別してローカンツリー種とカンザアン種に分つ、前者は海岸地方に住み容

貌漆黒に近く、後者は中央山地を占め色相黧黒い、概して男子は鼻樑を有し結髪の上鬘甲製の輪櫛をさすが、壯年者は歐風に倣ふものが多い、又白色の上衣にサロンを下半部にまく。婦人は束髪で白ジャケツに薄紫又は淡紅色の布をスカートの如くに纏ふてゐる、但し地方の民は半裸體である、性情概して巧智なれども浮薄で堅忍でない、理財に下手で、農を主とする、土民間に耕耨者(ヴェラ)を祖先に有するものは今猶最高階級と認めらる、但土民間の階級觀念は印度の如く甚しくはない。

タミル人はセイロン種とインザアン種とに分つ、前者は古來南方印度より移住土着せるもの、後者は現在一時的に當島の茶謨其他の産業の勞働者として移住してゐるものである。男子は結髪の上多く薄布を以て頭部を捲き、女子は赤色の襯衣を着くる風がある、性情鈍重なるも實質にして從順なれば最適當なる勞働者である。

ムーア人は土耳古帽又はターバンを被り天性執拗にして勤勉なるを以て頗る理財に長じ、多く商業に従事し隱然土人商界の實權を握る、現に當島第一の富豪で資産三三三萬留比以上と噂せらるゝアバダル・カフールの如き此人種である。

馬來人は英國の武力征服の際從軍せる兵子の子孫で多く下級官吏並に巡查として勤務してゐる。

ヴェツダについては學說猶決定しないが往古シンハリース人の印度より渡來せる際先住民族たりしナガ、ヤツカ兩蠻族の後裔で中央山地より東北海岸に注ぐマハイリ、カンガ上流の山地に居る、今猶弓箭を以て狩獵し未開の民である。

以上各人種の外に當島の都市にアフガニスタン人居住し其正確なる數は不明であるが、白色のターバンに寛かなる上下衣をつけ且杖を携へ、殆ど全部土人相手の高利貸をやつてゐる、英國人の多數は銀行官廳會社に居る、邦人も商業に従事してゐる。言語はシンハリス語尤も普及する、タミル語も之について兩者其語源は似てゐる。

序に云ふが、世人動もすれば錫蘭を印度政廳官下に屬するものと誤解するが、行政系統は印度とは全然關係がない、別個の王領植民地 (Crown Colony) で英本國植民大臣直轄の下に任期六年の總督が赴任して統治してゐる、別に立法參議會及行政參議會の兩機關があつて總督を輔翼し殊に近年立法參議會の民選議員數を著しく増加して民意上述の途を講じてゐるので、自治的色彩が稍濃くなつてきた。

問 小亞細亞地方の産業について伺ひたし

(京都O.K生)

答 小亞細亞地方は一般に土地豊饒天産物に富むも人爲の施設に伴はず農業に於ても耕作方法等全く幼稚にして勞働の不熟練農具の幼稚、硝酸肥料の輸入が自由なるに不拘全く行はれ居らず爲めに不振の狀にあり、されどもアナトリア鐵道は數年來同線沿道地方の農業開發の爲めに異常の貢獻をなせり、但しこの地方の耕地は全面積の一割一分に達せず、現在猶廣大なる平野が荒野のよゝに放擲せられ居るが故に其將來は有望なり、現在耕地の約五百七十五萬ヘクタ爾は穀物の耕地にて、其大半は小麥、三分一は大麥、残りは裸麥、燕麥、粟、蜀黍及米等を耕

やし、其耕作法の不完全なるに不拘小麥の收穫は一ヘクタ爾に付約十五ヘクトリツトルに上れり、これは佛國の收穫率に近きものにして地味の肥たるを知るに足れり、其重要なる産地はコニア、アンゴラ、シヴァス、アイディン、ブルツサ、アダナ、カスタームニ、カラツシ等あり、此等の諸州は各百萬ヘクトリツトル以上を産す就中コニア尤も多し、工業材料として棉花は主としてアダナ、アイディン地方より出で年額六萬噸十六相を産す、これ北米合衆國の産の六十六分一に當る、亞麻に至る所に耕作するも溫帶と異なり、其纖維よりも寧ろ其果實を採取する故に麻糸の產出はホル地方より約千五百噸を出すのみ、橄欖はこの地方の果樹として尤も重んぜられ其栽培地は三十萬ヘクタ爾に達しアイテン、ブルツサ、カラツシー、ダーダネル、イスマッド地方に多し、煙草も亦大規模に栽培せられ黑海沿岸地方を主要産地とし二萬噸の年産あり、阿片の栽培も亦多し、葡萄も到る所にありて三十萬ヘクタ爾の面積に擴り年額九十萬噸主として乾葡萄として輸出せらる、スミルナ地方のスルタニンと稱する無核子は尤も珍重せらる、葡萄について有名なるは胡桃にして一萬三千噸トレビソンドの榛の實も三萬噸に達し歐洲市場にも知られたり、農業について注目すべきは牧畜にして羊山羊の數も多けれども種族改良行はれず、羊毛一萬噸内外を産す、森林は全面積の九分の一に當り松、樺、櫟、赤松、樺の林多し、交通不便の地に残りたる森林なれば、其生産多からず鐵産には鐵鉛銅亜鉛等あれども、交通の不便と勞力の缺乏のためには不振なり、殊に資本と學術の缺乏とによりて開發せられざるものなり、之を要するにアジア土耳古の産業は十分に開發されたりといふべからず、農業改善策を施して其面目を一新するの日は前途遙かなりといふべき也。